

ONCC 第9期生 ぶらっと散策2 第12回探訪 天満・天神橋コース散策

日時：2022年2月3日（木） 集合：10時 解散：12時15分 天候：曇り時々晴れ

出席者：受講生35名、CA3名 計38名

午前10時、天満天神繁昌亭前に集合し、各班に分かれたメンバーにガイドさんが1名ずつ（計4名）ついて出発しました。

午前中は、大阪天満宮境内の様々な見どころを案内いただきました。瓢箪石、本殿、登竜門、拝殿、表大門（楼門）、天満天神の水、大將軍社、蛭子遷殿、星合之池、旧川崎東照宮 神興蔵、菅家廊下、白米稻荷社など盛沢山で、見どころの多さに驚きました。10時50分頃天満宮を出発し川端康成生誕の地碑、上方落語協会会館、天満組惣会所跡、東本願寺天満別院、川崎東照宮跡、洗心洞跡、大塩の乱 槐（エンジュ）跡、桜之宮公園の泉布観・旧桜之宮公会堂を巡った後造幣所正門前で12時15分に解散しました。

当初は昼食後に造幣局も見学予定でしたが、大阪府の「まん延防止等重点措置」の発令に伴い、午後の活動が中止となったのは残念でした。

生憎の曇り空で晴れ間がのぞいたのは短時間でしたが、全体的にも見どころの多いコースで、散策を楽しむことができました。

ガイドさん、CAさん、お世話になりました。

記録担当：2班



上方落語家と天満宮が協力して作った



北鳥居（北門）：天満天神繁昌亭のすぐ横にある



瓢箪石：北鳥居をくぐると右側にある



本殿：大塩平八郎の乱で焼失してから6年後に再建された

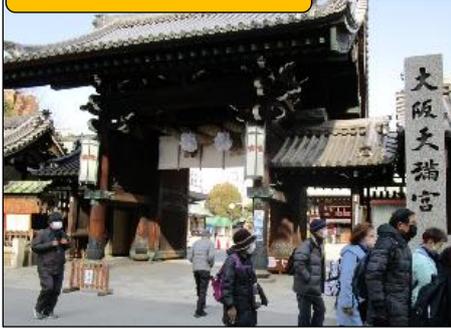


西登竜門：屋根の部分には、威勢よく飛び上がる「鯉」に「竜」が巻き上がり、水面から舞い上がろうとしている姿を見ることができる



拝殿：表大門（楼門）から境内に入って正面に見える

大阪天満宮（つづき）



表大門（楼門）：門の向こうに拝殿が見える



表大門の方位盤：表大門の天井には、十二支が描かれた方位盤がある



天満天神の水：江戸時代、参勤交代の途中で藩主が大坂に立ち寄った際、大坂四清水の一つとして滞在先に取り寄せるほど愛された



大將軍社：孝徳天皇がお宮を造営する際に守護神として創建され、これが天満宮創建のきっかけになった。祭神は菅原道真公。



菅家廊下：菅原道真の生涯が説明されている



白米（シラヨネ）稲荷社：伏見稲荷大社の奥院と称される



川端康成の生誕の地

幼児期に両親を失った康成は、祖父母に引き取られて茨木へ移住



天満組惣会所跡

江戸時代の自治組織、天満組の事務所跡



東本願寺天満別院

浄土真宗大谷派の大阪の拠点



川崎東照宮跡

1617年天満本願寺跡と織田有楽斎の別荘跡地に徳川家康を祀る神社を創建



洗心洞跡

洗心洞とは、天満与力大塩平八郎の私塾のこと



桜クラブ

造幣局構内にある



大塩の乱 槐の跡

大塩の乱で砲弾の当たった槐（エンジュ）の樹。45年前に切り倒した



泉布観：1871年造幣局の応接所として創建、重文、3月に3日間公開



旧桜宮公会堂：1935年に建設、ローム風建築で重文



造幣局

午後の見学は中止となり、正門前で解散した